



SANWA SUPPLY

モバイルキーボード取扱説明書

SKB-E68



WorkPad c3用



対応機種

IBM WorkPad c3

最初に
ご確認
ください。

セット内容

- モバイルキーボード 1台
- ドライバソフト(3.5"FD) 1枚
- 取扱説明書兼保証書(本書) 1部
- 単4乾電池(試供用) 3本

ご使用前にこのマニュアルをよくお読み下さい。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいて下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

はじめに

このたびは、モバイルキーボード「SKB-E68」をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
本製品は、IBM WorkPad c3で動作することができる英語配列のキーボードです。
本製品をご使用いただくには、IBM WorkPad c3・クレードル・WorkPad版Palm Desktopソフトウェア・Windows 98で動作するコンピュータ(COMポート、CD-ROMドライブ、3.5"FDドライブ付)が必要です。

本製品をご使用になる前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。

本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。

本書の内容についてのご質問やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

本書の内容については予告なしに変更することがございます。

本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のものとは異なることがあります。

⚠️ 取り扱い上のご注意

本製品は電気で動作しておりますので、発火する危険があります。万一煙が出たり変なおいが出たりした場合は、本製品及び接続しているコンピュータや機器の電源を切り、お買い上げの販売店又は、弊社までご連絡ください。

雷がなっている時に、本製品やケーブルに触れないでください。

落雷により感電する恐れがあります。

本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。

故障や感電の原因となることがあります。

濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。

本製品がパソコンに接続されている時には、感電する恐れがあります。

本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。

感電や火災、故障の原因となることがあります。

本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや湯煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管したりしないでください。

故障・感電などの原因となることがあります。

本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置いたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品は不安定な場所に設置したり、保管したりしないでください。

落下により故障・破損の原因となることがあります。

本製品や他の機器のケーブルを抜き差しする時には、必ずコネクタ部分を持ち無理な力を加えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品に接続する機器のケーブルは、家具で踏んだり、扉ではさんだりしないでください。またこれらのケーブルを引っ張ったり折り曲げたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。

定期的にバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。

本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。

塗装を痛めたり、故障の原因になることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。本製品は日本国内用に作られております。日本国外の規格等には準拠しておりません。

快適な使用方法

手首はまっすぐにのばし、指は少し曲げた状態にする。
手はキーボード上で肘に対して少なくとも90°になるようにする。
肩に力を入れたり、肩をすくめたりせず、余分な力を入れない。
15分間タイプする度に、1～2分休憩をとってください。
腕や肘を休めるため、手置き台(ハンドレスト)や肘付椅子の併用をしてください。
画面を見るときは、心持ち目線が下がるように椅子の高さを調節してください。
窓より少なくとも2mは離れて、自然光の入ってくる場所で、画面のコントラストを調節してください。

SKB-E68の特長

IBM WorkPad c3対応の英語キーボード。(ローマ字入力で日本語入力・変換が可能です。)
持ち運びにとっても便利な小型・軽量キーボード。
ファンクションキーには、お好みに応じて各種登録が可能。

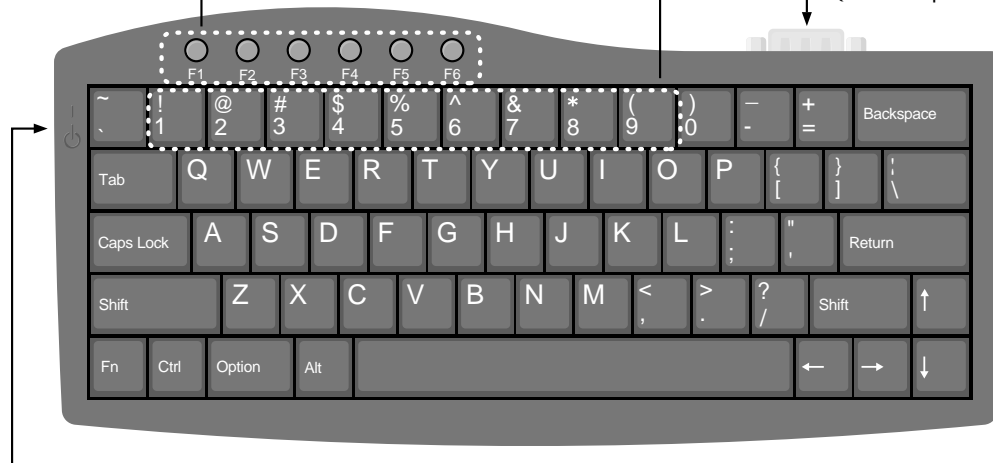
F1～F6:ファンクションキー

ソフトウェアによってアプリケーションの登録
またはキーストロークの登録ができます。

1～9:数字キー

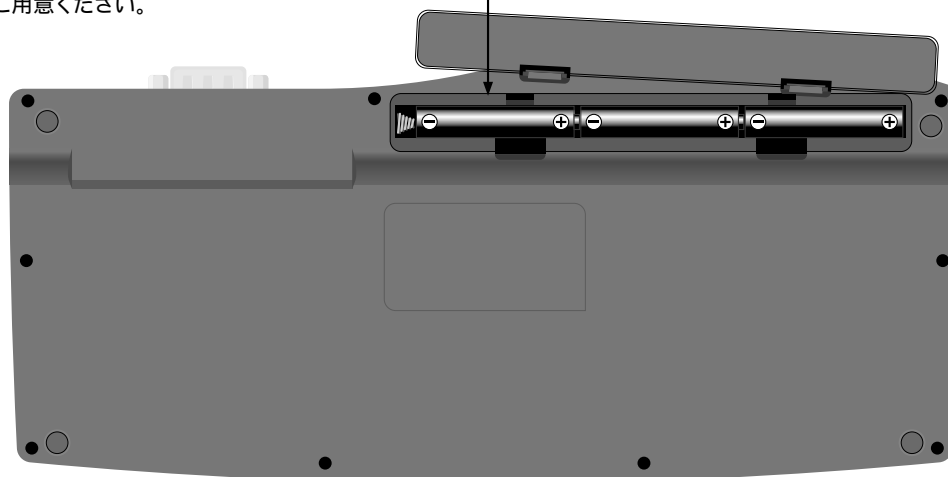
「Fn」キーとの併用で、
キーストロークの登録ができます。

シリアルインターフェースコネクタ
(D-sub9pinコネクタ)



キーボードの電源スイッチ

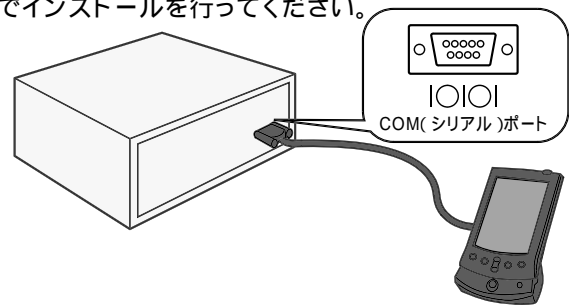
キーボードの電源には、単4乾電池を3本使用します。
別途ご用意ください。



ソフトウェアのインストール

WorkPadで本キーボードを動作させるために、以下の手順でインストールを行ってください。

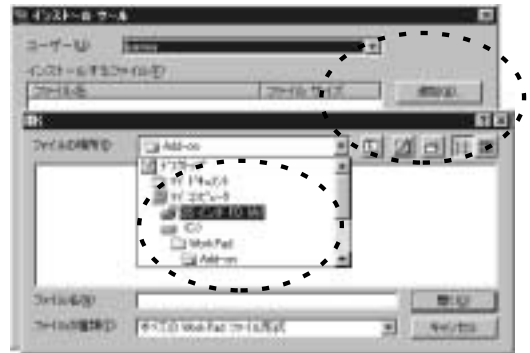
WorkPadをクレードルにセットします。
クレードルのケーブル(D-sub9pinメス)を、「WorkPad版 Palm Desktop」がインストールされているコンピュータのCOM(シリアル)ポートに接続します。
付属のフロッピーディスクを、コンピュータのフロッピードライブにセットしてください。
コンピュータにインストールされている「Hotsyncマネージャ」を起動させてください。



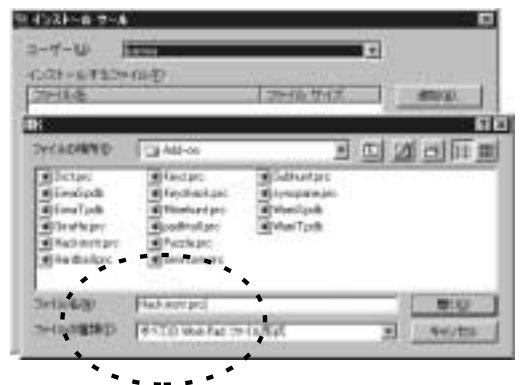
Windowsのデスクトップ画面で、「スタート」メニュー 「プログラム」 「WorkPad版 Palm Desktop」 「インストールツール」をクリックして、「インストールツール」を起動させます。




「追加 (A)」をクリックして、「ファイルの場所」の項目には、3.5インチFD(フロッピードライブ)を指定してください。



ファイル「Hackmstr.prc」を選択し、「開く」をクリックしてください。

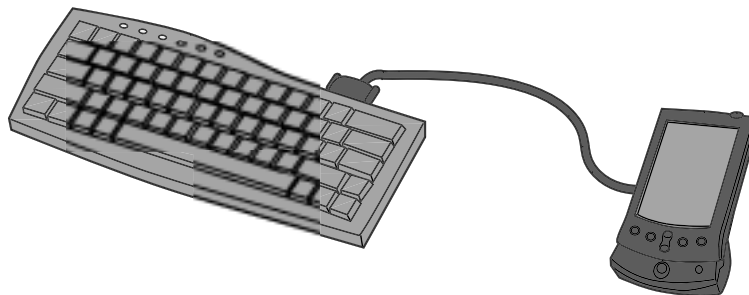



クレードルのHotSyncボタンを押してください。
WorkPadのピープ音とともにHotSync機能実行中のダイアログボックスが表示され、コンピュータからWorkPadへインストールが行われます。インストールが完了すると、もう一度WorkPadのピープ音が鳴ります。
次に、再度「インストールツール」の「追加 (A)」をクリックして、同じように「Keyzhack.prc」を選択し、インストールを行ってください。

以上で、本キーボードをWorkPadで動作させるためのソフトウェアがインストールされました。
コンピュータとWorkPadを終了させ、電源を切ってください。

ソフトウェアの設定

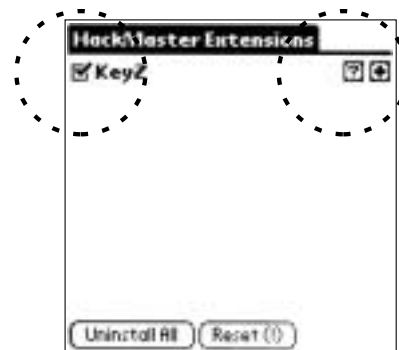
コンピュータに接続していたクレードルのケーブルを、本キーボードに接続します。
キーボード左側面のスイッチで、電源をONにします。



操作パネルのホームアイコン  をスタイラスペンでタップし、すべてのアプリケーションを表示させます。
「HackMaster」アイコンをタップし、起動させてください。

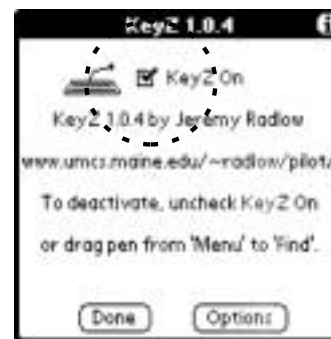


「KeyZ」の左側にある四角をタップし、チェックマークをつけます。
「KeyZ」の右端にある+マークをタップします。



< HackMaster画面 >

KeyZの初期画面が表示されたら、「KeyZ On」の左側の四角をタップして、onにしてください。
画面下の「Options」をタップします。

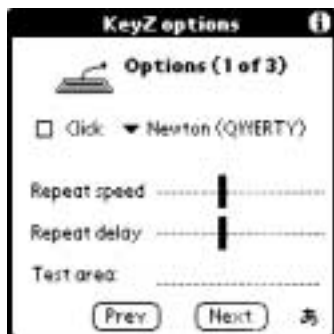


< KeyZの初期画面 >

ソフトウェアの設定(つづき)

KeyZのオプション画面が表示されます。(「Next」で次の画面に、「Prev」で前の画面に切り替わります。)

画面1(KeyZ options)では、必ず「Newton(QWERTY)」を選択してください。また、キー入力のリピート速度や、リピート開始までの時間の長さを設定できます。



- ← キー入力リピート速度の調整
- ← リピート開始までの時間の調整
- ← 設定を確認するためのテストエリア

<画面1>

画面2(KeyZ command keys)では、1～9までの数字を使ったショートカット、アプリケーションや検索画面を起動することができます。(ここで設定したショートカットを実行するときには、本キーボードの「Alt」キーを押しながら「1」～「9」までの数字キーを押してください。default(デフォルト=初期設定値)では、以下のように設定されています。



- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 予定表(Date Book) | 2 アドレス帳(Address...) |
| 3 To Do(To Do List) | 4 メモ帳(Memo Pad) |
| 5 電卓(Calculator) | 6 検索 |
| 7 未設定 | 8 未設定 |
| 9 未設定 | |

<画面2>

設定を変更するには、それぞれの番号のプルダウンメニューをタップして、メニューの中から選択します。メニューの上下スクロールは、ワークパッドのスクロールボタンでも行えます。

メニューには、初期設定で1～6までに登録されているアプリケーションの他に、支払いメモ(Expense)・メール(Mail)・データ保護(Security)・HotSync・環境設定(Preferen...)・初期設定(Setup)・ホーム(Launcher)や、後からインストールしたアプリケーションなどがあります。

ソフトウェアの設定(つづき)

画面3(KeyZ additional options)では、「 KeyZ 」を起動するショートカット操作や、起動時の告知設定が行えます。

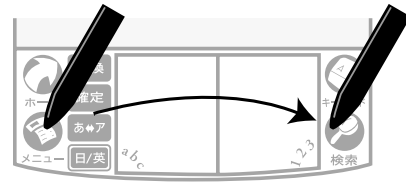


<画面3>

「 Start 」「 End 」それぞれのプルダウンメニューで設定した位置をスタイラスペンでなぞることで「 KeyZ 」のON/OFF、つまり、本キーボードから入力をするかしないかを決定できます。

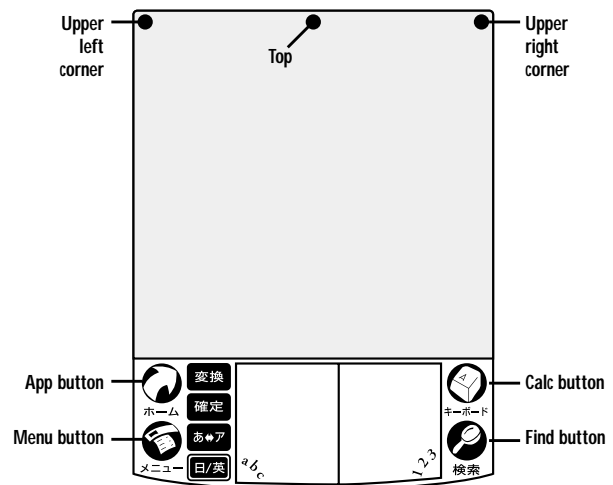
使用例

「 Start 」を「 Menu Button (メニュー) 」に、「 End 」を「 Find Button (検索) 」に設定した場合、WorkPadの「メニュー」ボタンから「検索」ボタンに向けて直線を引くようにスタイラスペンを移動させて「検索」ボタンの上でスタイラスペンを離すと、「 KeyZ 」プログラムのON/OFFが行えます。



音と視覚で「 KeyZ 」のON/OFFを告知します。(このショートカット操作でON/OFFするときのみ告知を行います。)


	ONになるとき	OFFになるとき
Audio	ピープ音が2度鳴ります。	ピープ音が1度だけ鳴ります。
Visual	画面のバックライトが2度点滅します。	画面のバックライトが1度点滅します。



設定を終えたら、「 Prev 」で「 KeyZ 」の初期画面に戻り、「 Done 」をタップしてください。

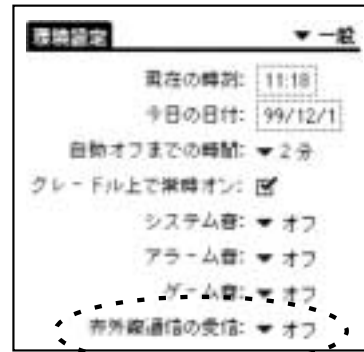
WorkPad c3の環境設定

本キーボードを使用する際には、「赤外線通信の受信」を「オフ」にしておく必要があります。

操作パネルのホームアイコンをタップし、すべてのアプリケーションを表示させます。

「環境設定」アイコンをタップし起動させてください。

「赤外線通信の受信」のマークをタップし、「オフ」を選択してください。



ファンクションキーの設定

本キーボードでは、「KeyZ」プログラムを使って9つの設定ができるほかに、キーボード本体を使ってオリジナルの設定を作成できます。

Fキー(F1～F6)

最大で30キーストロークまでの登録が可能です。

[設定方法]

「Fn」キーと「Option」キーを押した状態で、「Fキー(F1～F6のどれかひとつ)」を押してください。

「Fキー」を先に離してから、「Fn」キーと「Option」キーを離してください。

登録したいキー操作を、ひとつずつ順番に押してください。

入力が終わったら、「Fn」キーを一度だけ押してください。

以上で完了です。

この機能を使って、名前や住所などをワンタッチで入力でき、また、ショートカットキーの登録なども行えます。

例1:「サンワサプライ」と入力する場合

(1) 「Fn」キーと「Option」キーを両方押したままで「F1」キーを押し、この状態から、まず「F1」キーを離し、次に「Fn」キーと「Option」キーを同時に離します。

(2) 次に、S・A・N・W・A・Return、S・A・P・U・R・A・I・Return (はスペースキーを押します)

とキー入力してから「Fn」キーを一度押します。

これで「サンワサプライ」と登録されました。文字入力可能な画面で「F1」を一度押すと、「サンワサプライ」と入力されます。

文字入力の登録を行う場合は、実際の入力文字を確認しながら登録できるので、「メモ」など文字入力可能なアプリケーションで行うことをおすすめします。

例2:ショートカットキーの登録

「Ctrl」+「Alt」+「Backspace」(WorkPadの電源を切る)コマンドを、F1キーに登録します。

(1) 「Fn」キーと「Option」キーを両方押したままで「F1」キーを押し、この状態から、まず「F1」キーを離し、次に「Fn」キーと「Option」キーを同時に離します。

(2) 次に、「Ctrl」キーと「Alt」キーと「Backspace」を同時に押します。

(3) WorkPadの電源が切れてしましますが、そのまま「Fn」キーを一度押します。

これで、このショートカットが登録されました。WorkPadの電源を入れて「F1」キーを押すと、WorkPadの電源が切れます。

数字キー(1～9)

最大で4キーストロークまでの登録が可能です。設定方法はFキーの場合と同じです。(上記参照)

入力するときは、「Fn」キーを押しながら設定したキー(1～9)を押してください。



一度登録したキーは、何度でも登録し直すことができます。上記の方法で登録したオリジナルの設定も上書き登録できるので、用途に合わせて使いやすいように変更していただけます。

Fキーに何も登録しないとき(初期設定値)、F1～F6キーは「KeyZ」の「KeyZ command keys(前章参照)」での設定になっています。「KeyZ command keys」で「1」に予定表(Date Book)が設定されているときは、「F1」キーを押すと予定表が起動します。Fキーにキー入力やショートカットなどを登録したあとで「KeyZ command keys」のようなアプリケーション起動用に変更したい場合は、「ショートカットキーの登録」の機能を利用して、「Alt」キー+「(1～9までの)数字」キーのキーストロークを登録すれば、アプリケーションを起動させることができるようになります。

文字の入力

本キーボードを使って日本語の入力をする場合、ローマ字入力で行います。

ひらがなの入力

WorkPadの  アイコンをタップして、日本語入力モードをオンにします。オンの状態では、画面右下に「あ」と表示されています。「ア」と表示されているときは、カタカナが入力されます。WorkPadの  アイコンをタップすると、表示が「あ」となり、ひらがなモードになります。

キーボードから目的の文字を入力します。
下線付きの文字が表示されます。
キーボードのReturnキーを押します。
下線が消えて文字が確定されます。

こんにちは

こんにちは

漢字の入力

キーボードから目的の文字(漢字の読み)を入力します。
下線付きの文字が表示されます。
キーボードのReturnキーを押します。
下線が消えて文字が確定されます。
「便利な」と正しく変換されたら、「Return」キーを押します。「便利な」が確定されると同時に、次の文節の文字が漢字に変換されます。
次の漢字が正しく変換された場合、
「Return」キーを押して「機能」を確定させてください。
次の漢字が誤って変換された場合、
正しい漢字が表示されるまで、何回か続けてスペースキーを押します。「スペース」キーを続けて数回押すと、変換候補のポップアップメニューが画面左に表示されます。「スペース」キーを押すと、変換候補を表す反転表示が下に移動し、「Backspace」キーを押す上に移動します。目的の候補を選択し、「Return」キーを押して確定してください。



べんりなきのう

便利なきのう



便利な機能

便利な昨日




漢字変換中、「スペース」を押すかわりに、WorkPadの  アイコンをタップすると、変換が実行されま
す。また、「Return」を押すかわりに  アイコンをタップすると、文字が確定されます。

変換候補のポップアップメニューが表示されているときに、目的の文字を直接タップすると、ポップアップメニューが消え、目的の文字が入力されます。(確定はされていません)

ポップアップメニューが表示されているとき、「Alt」+「」キーで次の候補画面に、「Alt」+「」キーで前の候補画面に切り替わります。

文節の最後の文字が正しく変換されている場合、文字を確定するために「Return」キーを押すかわりに、続けてキーボードから文字入力を行うと、同時に最後の文字が確定されます。

いったん確定した漢字の再変換はできません。

「¥」記号の入力...本キーボードと日本語パームOSの組み合わせの場合に、「¥」を入力するには  キーをご使用ください。(ただし、「\ (逆スラッシュ)」を入力することはできません。)

ショートカットキー

Ctrl + X	: 選択した文字の切り取り
Ctrl + C	: 選択した文字のコピー
Ctrl + V	: 切り取ったりコピーしたりした文字の貼り付け
Shift +	: カーソル右側の文字を選択
Shift +	: カーソル左側の文字を選択
Ctrl + Backspace	: カーソル右側の文字を削除
Alt +	: WorkPadのスクロールボタンの上側と同じ
Alt +	: WorkPadのスクロールボタンの下側と同じ
Alt +	: 行の最後に移動
Alt +	: 行の先頭に移動
Alt + Tab	: WorkPadのバックライトのオン/オフ
Alt + space	: スクリーンキーボードの表示
Alt	: メニューの表示
Ctrl + Alt + Return	: 「OK」もしくは「Done」
Ctrl + Alt + Backspace	: WorkPadの電源を切る

仕様

キー/キー表示	68キー/英語(6ファンクションキーを含む)
インターフェース	シリアルインターフェース(D-sub9pinオス)
キースイッチ	メカニカル
キーストローク	2.3±0.2mm
動作力	55±10g
消費電流	スタンバイ:50μA/オペレーション:1.5mA
電源	単4乾電池×3本(別売)
サイズ	W260×D120×H30mm
重量	約300g
対応OS	Palm OS
対応機種	IBM WorkPad c3
備考	ドライバソフト(3.5"FD)付属